

# 植田っ子

平成19年度 2月号

学校便り

高松市立植田小学校

## 来るべき春にそなえて



寒さが厳しいこのごろですが、暦の上では春は目前です。

最近、あちこちの学校で、インフルエンザでの学級閉鎖が聞かれます。しかし、本校の児童は欠席も少なく、始業前も寒い中、元気よく戸外で遊んでいます。業間にも長縄クラスマッチにも備えて練習に励んでいます。クラスみんなでリズムを合わせ、運動をして体の中から温まっています。高学年には、ハンディキャップがつけられているので、低学年が優勝することも夢ではなさそうです。

### 平成19年度全国学力・学習状況調査（4月24日6年生調査）の結果

学校は、本調査をもとに児童の学力・学習状況を把握・分析し、今後の学校教育に生かしていきます。よいところは伸ばし、よくないところは改善していきますのでご理解とご協力をお願いします。なお、本調査により測定できる学力は学力の一部であり学校で育てている学力はこれ以外にも多くあります。

#### 1 教科に関する調査

本校は、国語、算数とも県平均正答率よりやや低いものの全国の平均正答率とはほぼ同じでした。基本的な生活習慣の身に付いている児童は国語や算数の正答率がよい傾向が見られます。

#### 観点別の傾向を考察すると

国語... 漢字の読み書き、接続語等基本的な内容はよく理解できている。情報の中から必要なものを選択し、手本の真似をして表現する力は育っています。

書かれている内容を正確に読み取り、意味が通じるように作り直す表現力、文章全体から主人公の置かれている状況を把握しそれをもとに主人公の気持ちを推測する力、および、辞書を効率よく利用する力や勧誘の表現や敬意表現を適切に用いる力に課題があります。

算数... 四則計算を正確にする力、平行四辺形や三角形の公式を理解し面積を求めることができる力は育っています。

グラフを読み取る力、面積の公式を日常生活にあてはめて考える力、計算結果を判断し根拠となる考えを説明する力に課題があります。

#### 2 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

本校児童が、「(いつも)している」「どちらかといえば(時々)している」と答えた児童の割合が全国や県の割合に比べて多い項目

「朝食を毎日食べている」「家庭や図書館で読書をする」

「外に出て遊んだり、運動・スポーツをして体を動かしたりしている」

本校児童が「あまりしていない」「全くしていない」と答えた人が全国や県の割合に比べて多い項目

「身の回りのことはできるだけ自分でしている」

「勉強する時間を自分で決めて実行している」「学校の授業以外に勉強をする」

「テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを家の人と決めてしている」

「難しいことでも失敗をおそれないで挑戦している」

本校の児童は、テレビやビデオ・DVDを見る時間が多く、携帯電話を持っている人の割合も全国や県平均より多いという結果も出ています。